



みんななかよく

じんけんぬりえ

京都府

〈ぬりえをした人〉

なまえ

ねんれい

すきなもの

〈ぬりえをした日〉

ねん

がつ

にち

〈かんそう〉

じぶん かお か しゃしん
自分の顔を書いたり、写真をはろう！

ひとり 一人ひとりの尊厳と人権が尊重される社会の実現をめざして

21世紀は「人権の世紀」とも言われています。この言葉には、すべての人が人間として尊ばれ、
幸せに生きていくことを保障される平和で心豊かな社会を実現したいという、世界中の人々の
願いが込められています。

この願いをかなえるために、私たち一人ひとりが人権尊重の意識を高め、自分の人権を大切に
するのと同じように、他人の人権も尊重していけるよう、家庭や地域、学校などあらゆる場や
機会を通じて、人権について学び、人を大切にする態度や行動を身につけていくことが必要です。

この『みんななかよく じんけんぬりえ』の各ページには、他人や社会との関係で、子どもたちに
大切にしてほしいメッセージが込められています。より多くの子どもたちに、自由な発想でこのぬ
りえを楽しんでもらいたい。そして、メッセージについて考えたり話し合ったりした思い出ととも
に、このぬりえをお手元に残してもらいたいと願っています。

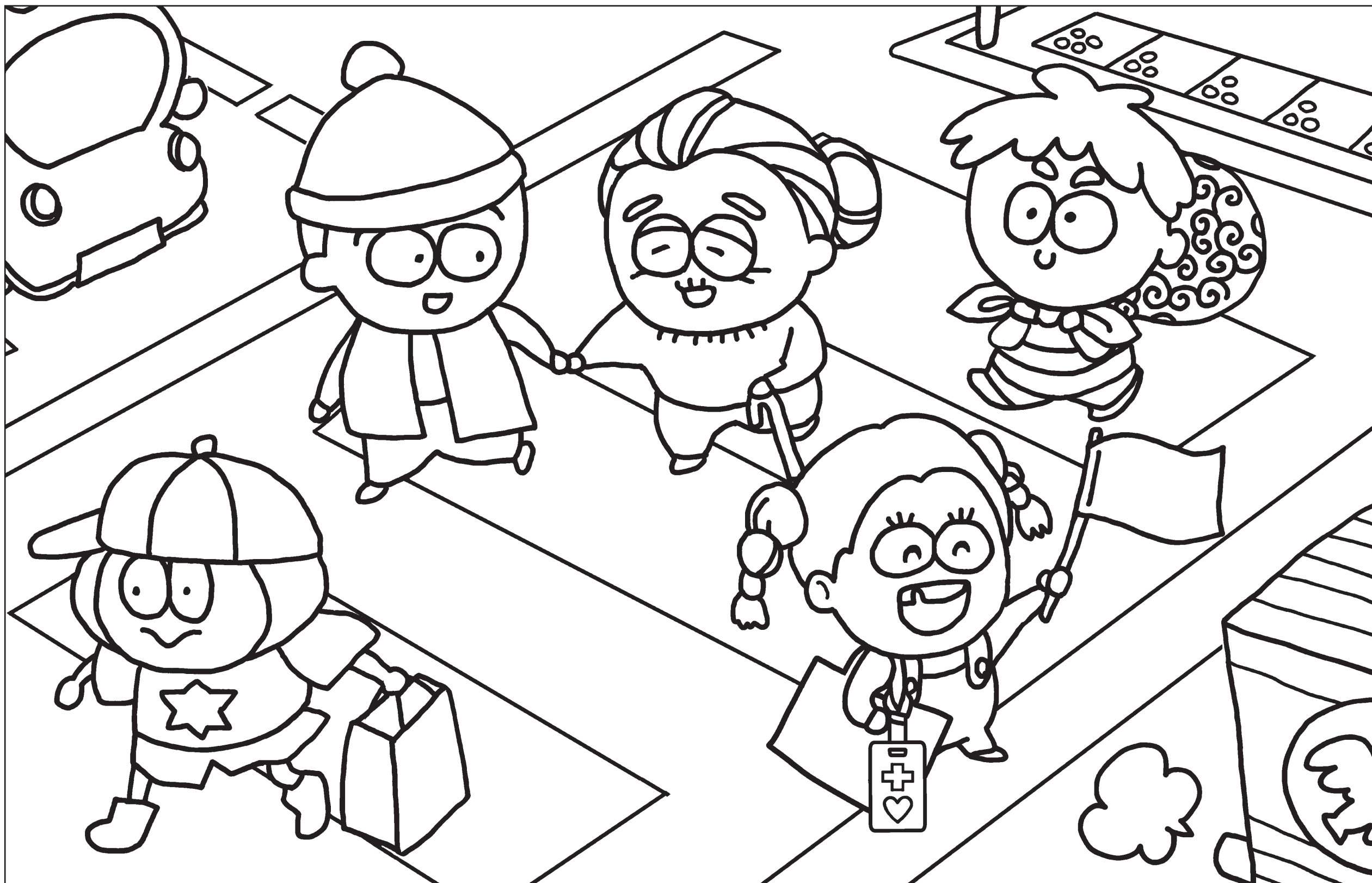
京都府

【制作協力（2016年）】

■デザイン・ディレクション／篠原 ユキオ（京都精華大学マンガ学部教授）

■作画／ソウダミク（京都精華大学マンガ研究科卒）、中西 明日香、韓 智熙（京都精華大学マンガ学部カートゥーンコース 4 年）

■編集制作／京都精華大学 事業推進室



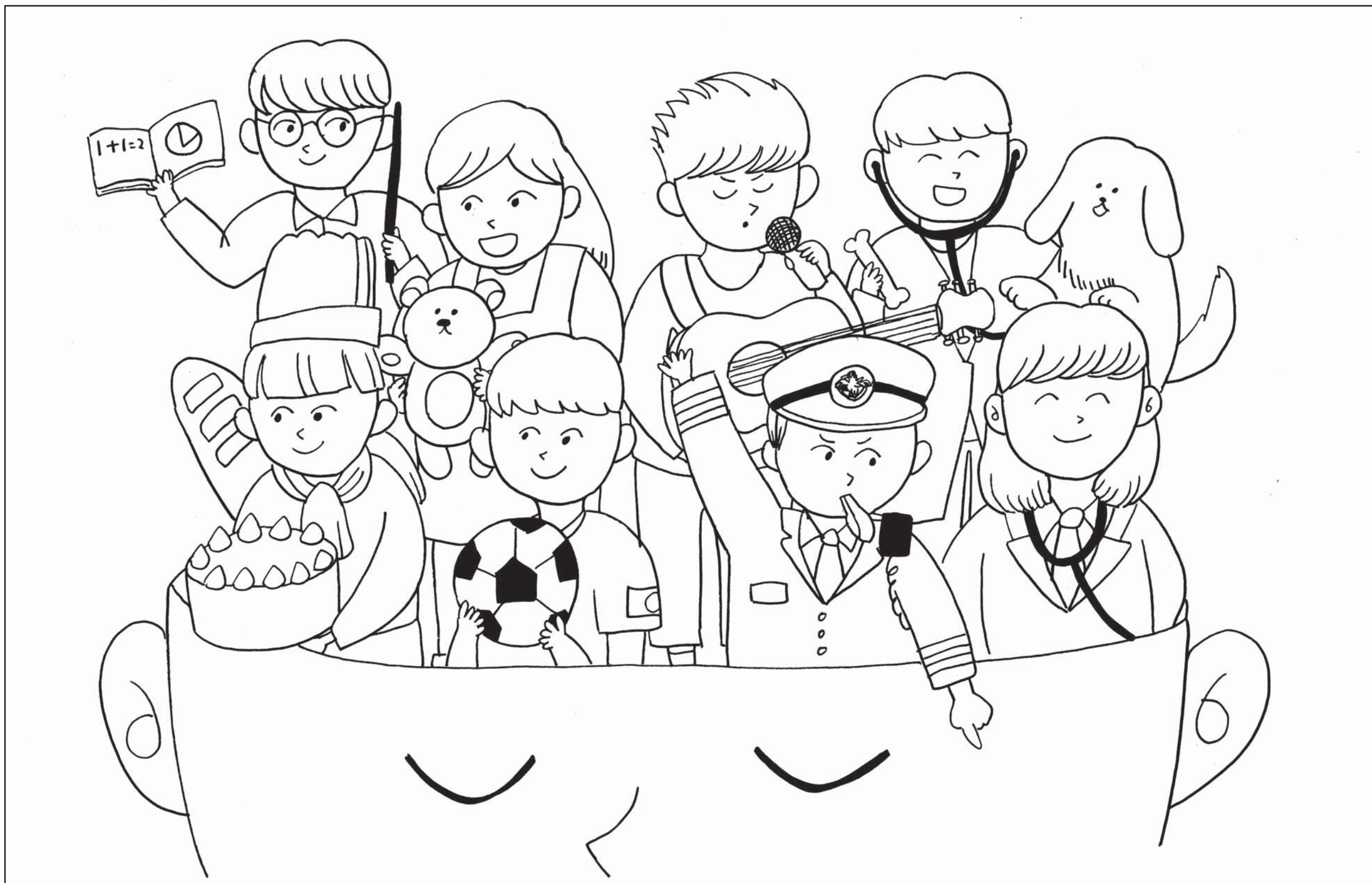
おとしよりやからだのふじゆうなひとをいたわりましょう。



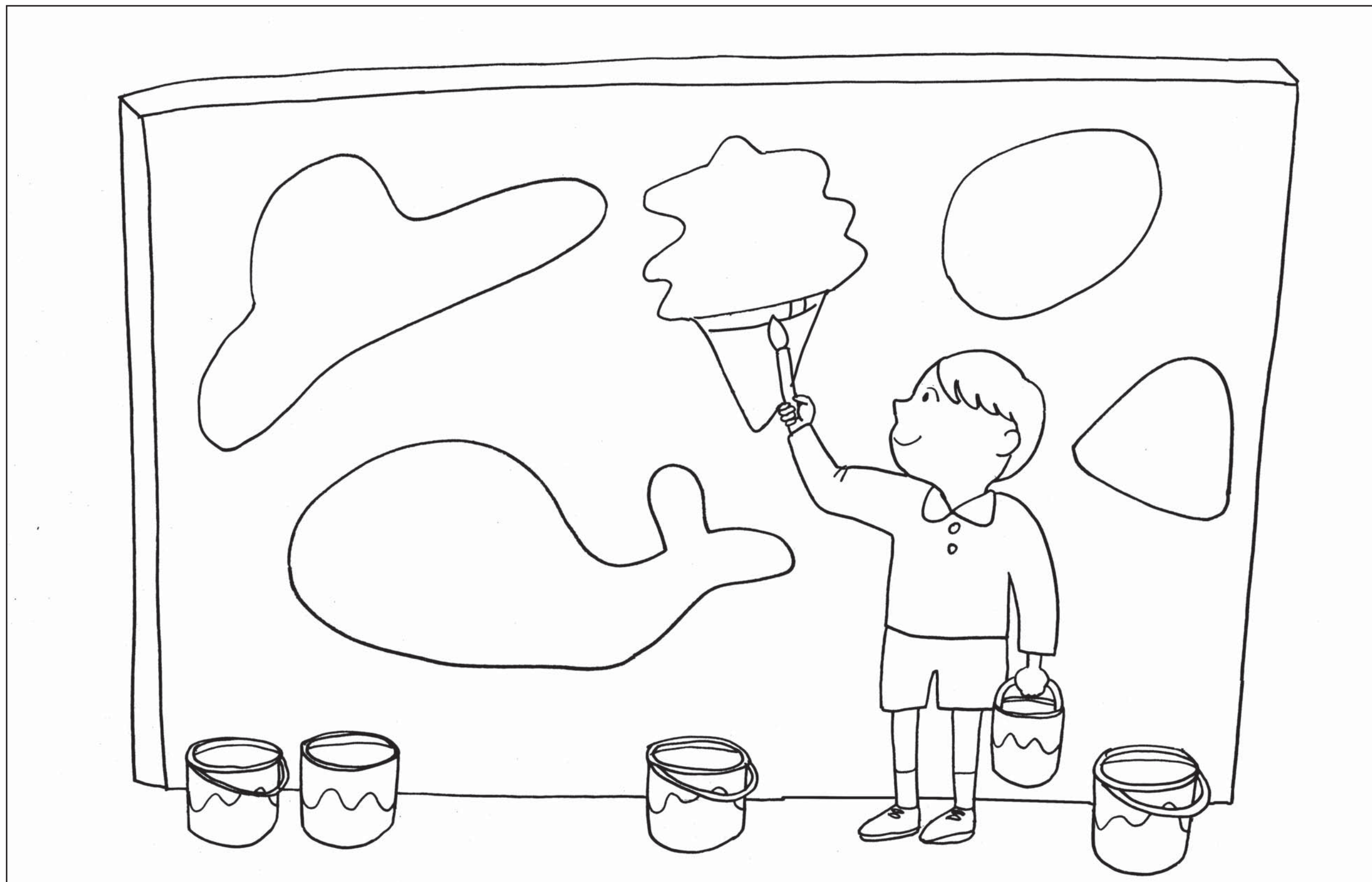
ちきゅうはひとつ。ちきゅうはみんなのいえ。



いっぱいさいたらいいな。



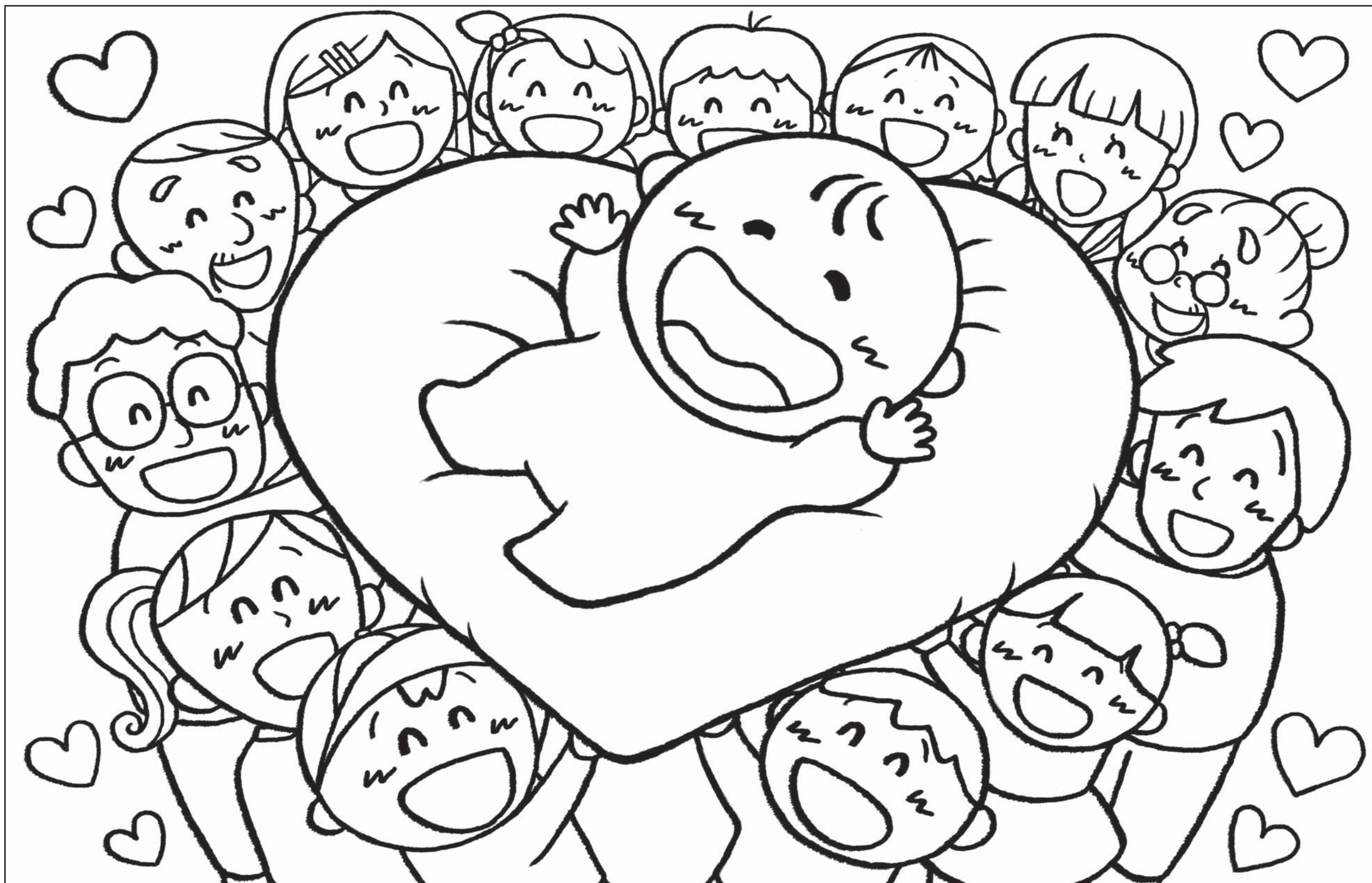
おおきくなったら、なにになりたい？



なにに見える？



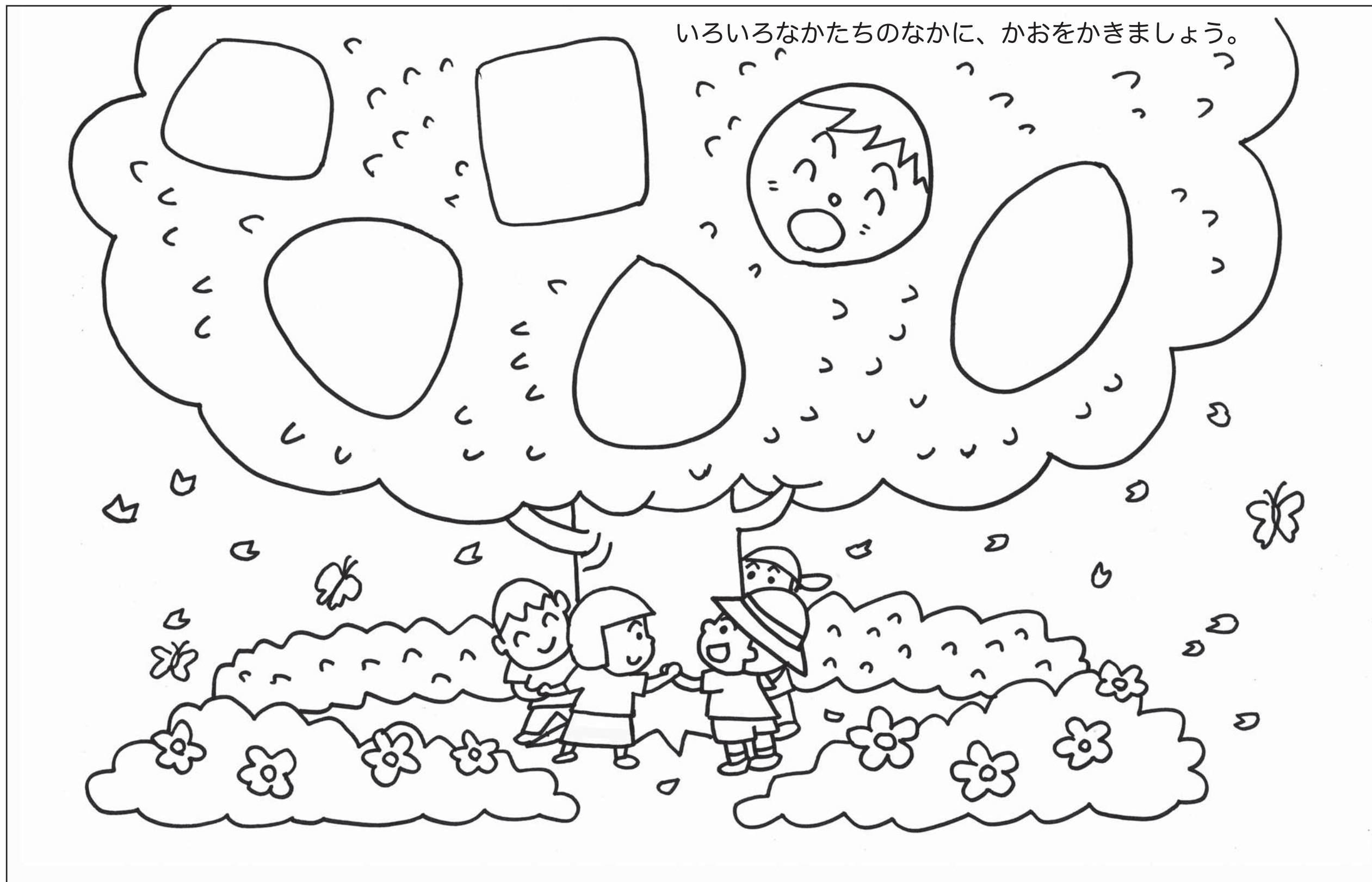
はなすことばはちがっても、はだのいろはちがっても、みんなおなじちきゅうのなかまで。



せかいにひとつ。みんなかけがえのないいのち。



きみとぼく。みんなちがってみんないい。



みんなちがって、みんなたいせつ。

